

書 写

東 京 書 籍
三 省 堂
教 育 出 版
光村図書出版

教科・種目名 書写

採択基準	基本観点	発行者名			
		2 東書	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
1 学習指導要領に示す目標の達成のために工夫されていること。	全体としての特徴や創意工夫 別表 1	・学習の進め方が示され、見開きで学習の見通しが持てる構成となっている。 ・各教材に「書写のかぎ」が示されている。 ・学年ごとに「書写テスト」を設けている。 ・伝統的な文字文化教材を取り扱っている。(9 教材)	・目標をもとに学習課題と振り返りが設定され、見開きで学習の見通しがもてる構成となっている。 ・各教材に「書き方のポイント」が示されている。 ・2 年の最後に「学力テスト問題」を設けている。 ・伝統的な文字文化教材を取り扱っている。(5 教材)	・目標をもとに学習の進め方が示され、見開きで学習の見通しがもてる構成となっている。 ・「書式の教室」に書写テストを設けている。 ・伝統的な文字文化教材を取り扱っている。(12 教材)	・目標をもとに学習の進め方が示され、見開きで学習の見通しがもてる構成となっている。 ・各教材に「学びのカギ」が示されている。 ・別冊「書写ブック」に書写テストを設けている。 ・伝統的な文字文化教材を取り扱っている。(7 教材)
2 内容や構成が学習指導を進める上で適切であること。	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための配慮 別表 2	・小学校の学習の振り返りがある。 ・写真を中心に用いてポイントを明示し、視覚的に理解しやすくしている。 ・筆記具などは写真により示している。	・小学校の復習を含め、5 ページにわたり写真を中心に用いてポイントを明示し、視覚的に理解しやすくしている。 ・筆記具などは写真により示している。	・写真を中心に用いてポイントを明示し、視覚的に理解しやすくしている。 ・筆記具などは写真により示している。 ・書き方を示す二次元コードがある。	・写真を中心に用いてポイントを明示し、視覚的に理解しやすくしている。 ・SDGs の視点を取り上げている。 ・筆記具などは写真により示している。 ・説明を示す二次元コードがある。
	(2) 思考力・判断力・表現力等の育成を図るための配慮 別表 3	・考える場面や話し合う教材を取り扱っている。(23 教材)	・考える場面や話し合う教材を取り扱っている。(18 教材)	・考える場面や話し合う教材を取り扱っている。(21 教材)	・考える場面や話し合う教材を取り扱っている。(18 教材)
	(3) 生徒が主体的・対話的に学習に取り組むことができる配慮 別表 4	・学習過程全体が分かる教材を取り扱っている。(16 教材) ・「課題を見つける→確かめる→生かす」の流れで学習に取り組むことができる。 ・振り返りのポイントが示されている。	・学習過程全体が分かる教材を取り扱っている。(19 教材) ・毛筆実習を伴う教材を中心に、手本の書き方によりポイントを見つけ、実習をして振り返りをする流れになっている。	・学習過程全体が分かる教材を取り扱っている。(25 教材) ・「考えよう→生かさそう→振り返ろう」の流れで学習に取り組むことができる。 ・振り返りは○や△の記号で表している。	・学習過程全体が分かる教材を取り扱っている。(17 教材) ・「考えよう→確かめよう→生かさそう」の流れで学習に取り組むことができる。 ・振り返りは目標が達成できたかのチェックを書き入れるようになっている。
	(4) 学習指導要領に示していない内容の取扱い 別表 5	・文字を活用した身の回りの多様な表現として、実際に使われているもの(看板など)の写真や実物例を多数示している。 ・例などを幅広く掲載している。	・文字を活用した身の回りの多様な表現として、実際に使われているもの(看板など)の写真や実物例を多数示している。 ・例などを幅広く掲載している。	・文字を活用した身の回りの多様な表現として、実際に使われているもの(看板など)の写真や実物例を多数示している。 ・石碑や書作品など文字文化に関わるものを取り上げている。	・文字を活用した身の回りの多様な表現として、実際に使われているもの(看板など)の写真や実物例を多数示している。 ・石碑や作家の筆跡などの例を取り上げている。
	(5) 他の教科等との関連 別表 6	・9 教材 ・「生活に広げよう」の単元 ・授業ノートの例では、横書きノートの例を示している。 ・「書写活用ブック」では、都道府県の行書手本、日常書式などを取り上げている。	・6 教材 ・「やってみよう」の単元 ・都道県名を練習する教材があり、名産品が掲載されている。 ・硬筆練習教材に横書きレポートの様式がある。 ・「資料編」では日常書式を取り上げている。	・8 教材 ・「学習を生かして書く」の単元 ・歴史上の人物の筆跡、看板や各都道府県にある石碑など、伝統的な文字文化に係る例を多く掲載している。 ・横書きノートの例を示している。 ・「書式の教室」では日常書式を取り上げている。	・10 教材 ・他教科との関連がある教材は、教材名の前にマークで示している。 ・防災フェスタや書写用具に関係することなど、SDGs と関連させた題材を示している。 ・「日常に役立つ書式」を取り上げている。

教科・種目名 書写

採択基準	基本観点	発行者名			
		2 東書	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
3 使用上の便宜が工夫されていること。	表記・表現の工夫 別表 7	- デジタル教材の用意がある。 - ユニバーサルデザイン（拡大教科書、色使い、書き込み欄の配置など）に配慮している。	- デジタル教材の用意がある。 - ユニバーサルデザイン（色使い、フォント、文字サイズ、順序など）に配慮している。	- デジタル教材「学びリンク」の用意がある。 - ユニバーサルデザイン（筆圧、色使い、UD フォント、人権配慮）に配慮している。	- デジタル教材「お手本くん」の用意がある。 - ユニバーサルデザイン（色使い、UD フォント、多様性の配慮、レイアウト等）に配慮している。

別表 1

調査項目	発 行 者 名			
	2 東書	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
全体の構成の特徴について	○特徴 ・「書写活用ブック」を含め 155 ページで構成している。 ・B5 版サイズ ・目標をもとに「課題を見つける→確かめる→生かす→振り返り」という学習の進め方が示され、見開きで学習の見通しがもてる構成 ・各教材に「書写のかぎ」が示されている。 ・学習の段階に沿ってページの色分けがされている。 ・学年ごとに「書写テスト」がある。	○特徴 ・「資料編」を含め 120 ページで構成している。 ・B5 版サイズ ・目標をもとに学習課題と振り返りが設定され、見開きで学習の見通しがもてる構成 ・各教材に「書き方のポイント」が示されている。 ・学年ごとにページの色分けがされている。 ・2 年の最後に「学力テスト問題」がある。	○特徴 ・「書式の教室」を含め 144 ページで構成している。 ・縦 B5 版・横 A4 版サイズ ・目標をもとに「考えよう→生かそう→振り返ろう」という学習の進め方が示され見開きで学習の見通しがもてる構成 ・学年ごとにページの色分けがされている。 ・「書式の教室」に書写テストがある。	○特徴 ・別冊「書写ブック」を含め 165 ページで構成している。 ・B5 版サイズ ・目標をもとに「考えよう→確かめよう→生かそう」という学習の進め方が示され、見開きで学習の見通しがもてる構成 ・各教材に「学びのかぎ」が示されている。 ・学年ごとにページの色分けがされている。 ・別冊「書写ブック」に書写テストがある。
伝統的な文字文化についての教材の有無と数	○伝統的な文字文化 教材 有 (9 教材) 「手書き文字と活字（明朝体の始まり）」 「仮名の書き方と字形（仮名の起こりと字源）」 「文字の移り変わり」 「いろは歌」 「行書に調和する仮名（字源と平仮名）」 「伝統的な用具・用材」 「身の回りの文字の目的と工夫」 「現代につながる文字の役割」 「書の古典－今に生きる書（発展）」	伝統的な文字文化 教材 有 (5 教材) 「仮名の字形と筆使い(平仮名の発生)（いろは歌）」 「文字の変遷」 「身のまわりの文字」 「文法四宝（資料）」 「書の古典（資料）」	伝統的な文字文化 教材 有 (13 教材) 「筆、墨、硯、紙について知ろう」 「楷書に調和する仮名『いろは歌』（仮名の成立）」 「文字の変遷」 「行書学習のはじめに」 「あの人が残した文字」 「活字について知ろう（活字の変遷）」 「書くことの変遷」 「行書に調和する仮名『いろは歌』（気持ちのつながりから文字のつながりへ）」 「短冊と色紙」 「日本建築と『書』」 「書の古典の鑑賞（発展）」 「多様な表現による文字」 「芸術としての書道（発展）」	伝統的な文字文化 教材 有 (7 教材) 「文字の歴史を探る」 「楷書に調和する仮名（いろは歌）」 「全国文字マップ」 「自分らしい文字」 「書く道具が生まれる」 「全国書き初め調べ隊」 「なりきり、書聖・王羲之（発展）」

別表2

調査項目	発行者名			
	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
硬筆練習の示し方の特徴	○硬筆練習 1年 3「字形と配列を整える書き方」など 2年 2「行書のまとめ②」など 3年 1「書いて味わおう」 ○特徴 ・毛筆実習教材の「生かそう」の項目では硬筆書写の学習がある。 ・お礼状やポップなどを題材とした「生活に広げよう」という硬筆練習を中心に扱った単元が設定されている。 ・「書いて味わおう」では国語科と関連付けた題材が設定されている。 ・「書写活用ブック」には硬筆字典がある。	○硬筆練習 1年 3「字形の整え方」「仮名の字形」など 2年 3「点画の省略/筆順の変化」など 3年 1「身の回りの文字」 ○特徴 ・「書いて身につけよう」では毛筆実習教材の学習をふまえた硬筆練習があり「振り返ろう」もある。 ・「書いて身につけよう」では国語科と関連付けた題材が設定されている。 ・新聞や情報誌作りなどを題材とした「やってみよう」という硬筆練習を中心に扱った単元がある。 ・「資料編」には楷書・行書一覧表がある。	○硬筆練習 1年 3「字形、筆順」「配列」など 2年 3「行書の特徴」など 3年 1「学習を生かして書く―配列」 ○特徴 ・毛筆実習教材の「試し書き」「まとめ書き」の項目では硬筆書写の学習がある。 ・「学習を生かして書く」では国語科と関連付けた題材も設定されている。 ・ポップや新聞などを題材とした硬筆練習を中心に扱った教材がある。 ・「書式の教室」楷書・行書の漢字一覧表がある。	○硬筆練習 1年 8「漢字の筆使い」 「筆順/外形と中心」 2年 4「点画の省略」など 3年 3「言葉を書こう3」など ○特徴 ・基本的に硬筆練習は別冊「書写ブック」にまとめられている。 ・毛筆実習教材の「生かそう」の項目では硬筆書写の学習がある。 ・「季節のしおり」や「言葉を書こう」では国語科と関連付けた題材が設定されている。 ・職業ガイドなどを題材とした硬筆練習を中心に扱った教材がある。 ・「中学生のための漢字字典」がある。
毛筆の実習の示し方の特徴	○毛筆の実習 1年 7「基本の点画の書き方」など 2年 6「点画の省略」など 3年 1「書き初めをしよう」 ※共通「書き初めをしよう」 ※点画に関すること（基本→連続→変化→省略） ※文字の大きさと配列 ※行書と仮名の調和 など ○特徴 ・通常の手本に加え、穂先の通り道を朱で示し、筆脈やバランス、ポイントなどを示した小さな手本が掲載されている。	○毛筆の実習 1年 7（うち1は資料編）「字形の整え方と筆使い」など 2年 5（うち1は資料編）「点画の省略」など 3年 1（資料編）「書き初め」 ※共通「（資料編）書き初め」 ※点画に関すること（丸み→連続→変化→省略） ※行書と仮名の調和 など ○特徴 ・通常の手本に加え、穂先の通り道を朱で示した小さな手本が掲載されている。 ・行書の学習では、違いを見取れるように楷書で書いた場合も掲載されている。 ・初回の実習手本では、半紙サイズの手本が掲載されている。 ・資料編に毛筆補充教材がある。	○毛筆の実習 1年 8「筆使い―基本点画―」など 2年 6「点画の省略『白雲』」など 3年 2「行書と仮名の調和」など ※共通「書き初めを書く」 ※行書に関すること（筆使い→連続と変化→連続と省略→筆順の変化） ※文字の大きさと配列 ※行書と仮名の調和 など ○特徴 ・通常の手本に加え、穂先の通り道を朱で示し、筆脈やバランス、ポイントなどを示した小さな手本が掲載されている。 ・初回の実習手本では、半紙サイズの手本が掲載されている。	○毛筆の実習 1年 7「漢字の筆使い」など 2年 6「点画の省略」など 3年 2「三年間のまとめ」など ※共通「書き初めをしよう」 ※点画に関すること（基本→連続→変化→省略） ※文字の大きさと配列 ※行書と仮名の調和 など ○特徴 ・手本の横に、穂先の通り道を墨の濃淡、ポイントとなる点画には朱で示したものが掲載されている。 ・「確かめよう」では「学びのカギ」に基づいたポイントが図などを用いて大きく示されている。 ・実習手本のほとんどが半紙サイズで掲載されている。

調査項目	発行者名			
	2 東書	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
姿勢、筆記具等の示し方の特徴	○姿勢・筆記具の持ち方など ・小学校の学習の振り返りがある。 ・写真を中心に用いてポイントを示し、視覚的に理解しやすくしている。 ○筆記具などの示し方 ・伝統的な用具や用材について写真を用いて作り方や生産地を示している。 ・筆記具の使い分けについて、筆記具の写真や実際の筆致を示している。	○姿勢・筆記具の持ち方など ・小学校の復習を含め5ページにわたり写真を中心に用いてポイントを示し、視覚的に理解しやすくしている。 ○筆記具などの示し方 ・伝統的な用具や用材について写真を用いて作り方を示している。	○姿勢・筆記具の持ち方など ・写真を中心に用いてポイントを示し、視覚的に理解しやすくしている。 ・姿勢では体幹に着目したポイントを示している。 ○筆記具などの示し方 ・身のまわりにある多様な筆記具を紹介し書き方を示す二次元コードがある。 ・筆記具の特徴について、筆記具の写真や実際の筆致を示している。	○姿勢・筆記具の持ち方など ・書くときの姿勢、タブレットを使う姿勢について写真を中心に用いてポイントを示し、視覚的に理解しやすくしている。 ・毛筆の片付けについてSDGsの視点をもって説明している。 ○筆記具などの示し方 ・伝統的な用具や用材について写真で示し、説明を示す二次元コードがある。 ・筆記具の特徴について、筆記具の写真や実際の筆致を示している。

別表 3

調査項目	発行者名			
	2 東書	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
考える場面や話し合う場面の示し方の有無と数	○示し方の有無 有 (23 教材) 「文字を『書く』って、なんだろう」 「手紙を書こう」 「職場訪問をしよう」 「本のポップを書こう」 「楷書と行書の使い分け」 「身の回りの文字の目的と工夫」 「手書き文字の特徴」 「現代につながる文字の役割」 「自分のノートを見直す」 「思いを文字で表そう」 各教材「見つけよう」「振り返ろう」	○示し方の有無 有 (18 教材) 「グループ新聞を作ろう」 「楷書と行書の使い分け」 「情報誌を作ろう」 「身の周りの文字」 「名言集を作ろう」 各教材「書き方を学ぼう」「振り返ろう」	○示し方の有無 有 (21 教材) 「学校生活に生かして書く」 「行書学習のはじめに」 「さまざまな書く場面」 「活字について知ろう」 「学習を生かして書く（新聞）」 「多様な表現による文字」 「三年間の学習の成果を生かそう」 各教材「考えよう」	○示し方の有無 有 (18 教材) 「情報収集の達人になろう」 「楷書と行書の使い分け」 「全国のフォント見つけ隊」 「職業ガイドを作ろう」 「手書きのよさって、何だろう」 「全国文字マップ」 「文字の使い分け」 「防災フェスタを開こう」 「自分らしい文字」 「冊子にまとめよう」 各教材「考えよう」

別表 4

調査項目	発行者名			
	2 東書	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
学習過程全体がわかる場面の有無と数や特徴	○わかる場面の有無 有 (16 教材) ○特徴 ・毛筆実習を伴う教材中心に、目標をもとに「課題を見つける→確かめる→生かす」という学習の進め方が示されている。 ・「振り返ろう」では振り返りのポイントが示されている。	○わかる場面の有無 有 (19 教材) ○特徴 ・毛筆実習を伴う教材中心に、目標をもとに書き方のポイントを取り上げ、手本の書き方ポイントを見つけ、実習をして振り返りをする流れになっている。	○わかる場面の有無 有 (25 教材) ○特徴 ・毛筆、硬筆問わずほとんどの教材で目標をもとに「考えよう→生かそう→振り返ろう」という学習の進め方が示されている。 ・振り返りは○や△の記号で表すようになっている。	○わかる場面の有無 有 (17 教材) ○特徴 ・毛筆実習を伴う教材中心に「考えよう→確かめよう→生かそう」という学習の進め方が示されている。 ・「振り返ろう」は目標が達成できたか、チェックを書き入れるようになっている。

別表 5

調査項目	発行者名			
	2 東書	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
文字を活用した身の回りの多様な表現の示し方とその特徴	○多様な表現の示し方 ・実際に使われている物（看板など）の写真や実物例を多数挙げ示している。 ○特徴 ・活字と手書き文字の違いや書体の違いを詳しく示している。 ・例などが幅広く掲載されており、身の回りの多様な表現が想起しやすい。	○多様な表現の示し方 ・実際に使われている物（看板など）の写真や実物例を挙げ示している。 ○特徴 ・活字と手書き文字の違いを示している。 ・例などが掲載されており、身の回りの多様な表現が想起しやすい。	○多様な表現の示し方 ・実際に使われている物（看板など）の写真や実物例を挙げ示している。 ○特徴 ・活字と手書き文字の違いや書体の違い、活字の変遷を詳しく示している。 ・巻頭に多様な文字表現の場面を示しており身の回りの多様な表現が想起しやすい。 ・石碑や書作品など文字文化に関わる物を例として多く挙げている。	○多様な表現の示し方 ・実際に使われている物（看板など）の写真や実物例を挙げ示している。 ○特徴 ・活字の魅力と手書き文字の魅力について教材を分け、イラストなどを用いて示している。 ・石碑や作家の筆跡などの例が取り上げられており、身の回りの多様な表現が想起しやすい。

別表 6

調査項目	発行者名			
	2 東書	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
	○他教科との関連 9 教材 ※資料（書写活用ブック）は含まない。 ○特徴 ・「生活に広げよう」の単元で総合の時間や国語科との関連がある教材が示されている。 ・検定試験申込書や防災訓練、町の看板など生活の場面で見られる例やSDGs と関連のある題材を示している。 ・授業ノートの例では横書きノートの例を示している。 ・「書写活用ブック」では都道府県名の行書手本、日常書式などが挙げられている。	○他教科との関連 6 教材 ※資料（資料編）は含まない。 ○特徴 ・「やってみよう」の単元で総合の時間や国語科との関連がある教材が示されている。 ・都道府県名を練習する教材があり（硬筆練習）、名産品が記載されている。 ・硬筆練習の教材に横書きレポートの様式がある。 ・「資料編」では日常書式が挙げられている。	○他教科との関連 8 教材 ※資料（書式の教室）は含まない。 ○特徴 ・「学習を生かして書く」の単元で総合の時間や国語科との関連がある教材が示されている。 ・歴史上の人物の筆跡、看板や各都道府県にある石碑など、伝統的な文字文化に係る例が多い。 ・ESD やSDGs と関連のある題材を示している。 ・授業ノートやレポートの例では横書きノートの例を示している。 ・「書式の教室」では日常書式が挙げられている。	○他教科との関連 10 教材 ※資料（日常に役立つ書式）は含まない。 ○特徴 ・総合の時間や国語科との関連がある教材は教材名の前にマークが示されている。 ・都道府県名を練習する教材があり（硬筆練習）横書きで短文を書く練習欄がある。 ・防災フェスタや書写用具に関係することなどSDGs と関連させた題材を示している。（SDGs×書写） ・「日常に役立つ書式」日常書式が挙げられている。

別表 7

調査項目	発行者名			
	2 東書	1 5 三省堂	1 7 教出	3 8 光村
デジタル教科書の用意やユニバーサルデザインに向けた特徴	○デジタル教科書の用意：あり ・指導書コンテンツライブラリーや指導者用デジタルブックには、手元の様子が分かる動画がある。 ・運筆動画などを示す二次元コードがある。 ○ユニバーサルデザイン ・拡大教科書がある。 ・色覚多様性への配慮がされた色使い ・UD フォントを紹介している（小さい文字）。 ・左利き生徒も書き込みやすいよう書き込み欄の配置を工夫している。 ・原則として文節で改行されている。	○デジタル教科書の用意：あり ・補充教材のデジタルコンテンツがあり、小学校や高校の学習との連携教材もある。 ・運筆動画などを示す二次元コードがある。 ○ユニバーサルデザイン ・色覚多様性への配慮がされた色使い ・学習上重要な項目は目立つようフォントや文字の大きさを工夫している。 ・造本上の工夫（紙質・製本）をしている。 ・学習の順序が分かりやすいよう構成されている。	○デジタル教科書の用意：あり ・「まなびリンク」：教科書の二次元コードと連動、個別最適な学習に関連 ・左利きで書く場合の毛筆用具の置き方を掲載し、まなびリンクに左利きの持ち方の動画がある。 ○ユニバーサルデザイン ・筆圧を図や数字で示す。（特別支援教育などへの配慮） ・色覚多様性への配慮がされた色使い ・UD フォント（UD フォントのコラムを掲載し、まなびリンクに詳しい説明がある。） ・イラストや図版に人権上の配慮がある。	○デジタル教科書の用意：あり ・学習者用、指導者用「お手本くん」 ・運筆動画などを示す二次元コードがある。 ○ユニバーサルデザイン ・色覚多様性への配慮がされた色使い ・目次や単元（教材）名にはUD フォントを使用している。（UD フォントのコラムを掲載、具体的な例を挙げて違いを示している。） ・イラストや図版に多様性の配慮がある。 ・特別支援教育の配慮として、情報を精選したレイアウトになっている。
写真・図表や資料、挿絵の示し方の特徴	○用具、用具の持ち方、姿勢など鮮明なカラー写真を用いて示している。 ○生活の中にある文字文化について、写真やイラストを使ってイメージをもちやすいように示している。	○用具、用具の持ち方、姿勢など鮮明なカラー写真を用いて示している。 ○生活の中にある文字文化について、写真やイラストを使ってイメージをもちやすいように示している。	○用具、用具の持ち方、姿勢など鮮明なカラー写真を用いて示している。 ○鮮明なカラー写真を用いて、生活の中にある文字文化について示している。	○用具、用具の持ち方、姿勢など鮮明なカラー写真を用いて示している。 ○生活の中にある文字文化について、写真やイラストを使ってイメージをもちやすいように示している。